

平成28年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名		若年層に対するプログラミング教育の普及推進		担当部局庁	情報流通行政局			作成責任者			
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	平成29年度	担当課室	情報通信利用促進課			課長 御厩 祐司			
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第65号			関係する計画、通知等	世界最先端IT国家創造宣言(平成27年6月30日閣議決定) 日本再興戦略(平成27年6月30日閣議決定)						
主要政策・施策	子ども・若者育成支援			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	プログラミング教育について、クラウドや地元の民間人材を活用した効率的・効果的な実施モデルを確立し、地理的・身体的条件等によらず、全ての児童生徒が最先端の教育を受ける機会を確保。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	子供たちの論理的思考力や創造性等を高める観点から、クラウドや地域人材を活用した、プログラミング教育の実施モデルを開発・普及し、将来の我が国の社会経済を支える人材を育成。 具体的には、①障害のある子供や突出した能力を示す子供に対するものを含む教材コンテンツ・指導ノウハウの開発、②ポータルサイトの構築、③出前講座等のアウトリーチ的手法や指導者研修による全国への普及展開等を実施。										
実施方法	委託・請負										
予算額・執行額 (単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
	予算の状況	当初予算	-	-	-	103	400				
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	0					
		翌年度へ繰越し	-	-	-						
		予備費等	-	-	-						
	計		0	0	0	103	400				
	執行額		-	-	-						
執行率(%)		-	-	-							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度
	民間プログラミング指導者(メンター)を1000名以上育成する。		民間プログラミング指導者(メンター)の育成数		成果実績	人	-	-	-	-	-
					目標値	人	-	-	-	-	1,000
					達成度	%	-	-	-	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 <input type="checkbox"/> チェック											
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標					単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	実証事業の実施ブロック数				活動実績	件	-	-	-	-	
					当初見込み	件	-	-	-	11	
単位当たりコスト	算出根拠					単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	実証事業実施額/実証事業の実施ブロック数				単位当たりコスト	万円	-	-	-	500	
					計算式	万円/件	-	-	-	5500/11	
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	職員旅費		0.6	0.8	「新しい日本のための優先課題推進枠」400百万円						
	情報通信技術研究開発調査費		102	399							
計		102.6	399.8								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策 V. 情報通信 (ICT政策)										
	施策 2. 情報通信技術高度利活用の推進										
	測定指標	定量的指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 年度	
				実績値	-	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-	-
		定性的指標		目標	施策の進捗状況(目標)						
				目標年度							
		クラウドと地域民間人材を活用した、プログラミング教育実施モデルの確立		クラウドと地域民間人材を活用した、プログラミング教育実施モデルのガイドラインを策定し、民間コンソーシアムを通じて普及活動を実施	29年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に、実証実験を通じ、モデルの確立に向けた課題等の整理を実施。 平成29年度に、プログラミング教育実施モデルのガイドラインを確立・公表し、民間コンソーシアムを通じて普及活動を実施。 					
				施策の進捗状況(実績)							
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
クラウドや地域民間人材を活用したプログラミング教育の実施モデルを実証し、広く普及することにより、プログラミング教育を受ける機会が全国に拡大し、地域による教育格差などが解消されることとなるため、ICT利活用による社会的課題の解決に寄与する。											
経済・財政再生アクション・プログラム	改革項目										
	分野:	-									
	KPI (第一階層)	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
				成果実績							
				目標値							
			達成度	%							
	KPI (第二階層)	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
				成果実績							
				目標値							
			達成度	%							
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											

事業所管部局による点検・改善				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	プログラミング教育は、論理的思考力や創造性、課題解決能力等の資質・能力を育む観点から、重要性が高まっており、産業競争力会議等においても、その充実が求められている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	プログラミング教育については、都市部と地方とで学習機会に大きな格差が生じており、地方自治体、民間等に委ねることはできない。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	プログラミング教育を全国に普及するにあたっては、指導者や実施コスト等が大きな課題であり、クラウドや地域民間人材を活用したプログラミング教育の実施モデルを構築する本事業は必要かつ適切なものである。また、指導者やコストの課題が解決されない限り、プログラミング教育の全国普及は困難と考えられることから、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	請負先の選定にあたっては、一般競争入札に付すなど、競争性を確保しながら選定しているが、結果として一者応札であったため、仕様書を手入したものを入札に参加しなかった者に対して、不参加の理由のヒアリングを実施し、必要に応じてその結果を次年度の仕様書等作成に活かしたい。	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	所管府省・部局名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層に対するプログラミング教育の重要性については、産業競争力会議など各方面から指摘されているが、指導者やノウハウの不足、実施コスト等の課題により、特に地方において普及していない。 ・このような状況を踏まえ、クラウドや地域の民間人材を活用した効果的・効率的なプログラミング教育の実施モデルを確立することは、プログラミング教育の全国展開に向け、不可欠の取組である。 		
	改善の方向性			

外部有識者の所見

--	--

行政事業レビュー推進チームの所見

--	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

--	--

備考

--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新28-0007	

